

平成23年度 教育委員会 第5回定例会 議案

1 日 時 平成23年6月8日（水） 午後2時15分

2 場 所 県総合教育センター会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 議 事

(3) 報告事項

(4) 閉 会

第5回定例会 報告事項

| 番号 | 項 目 | Page |
|----|----------------------|------|
| 1 | 平成24年度教員採用選考試験志願状況 | 1 |
| 2 | 静岡県文化財建造物監理士養成講習会の開催 | 3 |

平成 24 年度教員採用選考試験志願状況

(学校人事課)

1 志願者数

| 高等学校教員 | | | | 特別支援学校教員 | | | | 小・中学校教員 | | | | |
|--------|-------|-------|-----|-------------|------|------|-----|---------|-----------------|--------------|-------|-----|
| 教科 | 24年度 | 23年度 | 増減 | 校種教科 | 24年度 | 23年度 | 増減 | 校種教科 | 24年度 (小・中共通) | 23年度 | 増減 | |
| 国語 | 118 | 112 | 6 | 小学部 | 155 | 129 | 26 | 小学校 | 768 | 769 | -1 | |
| 地歴 | 175 | 159 | 16 | 中 学 部 | 国語 | 14 | 19 | -5 | 国語 | 100 <18> | 107 | -7 |
| 公民 | 61 | 56 | 5 | | 社会 | 60 | 58 | 2 | 社会 | 154 <21> | 131 | 23 |
| 数学 | 134 | 117 | 17 | | 数学 | 6 | 10 | -4 | 数学 | 106 <20> | 104 | 2 |
| 理科 | 153 | 157 | -4 | | 理科 | 14 | 8 | 6 | 理科 | 90 <21> | 89 | 1 |
| 保体 | 225 | 225 | 0 | | 音楽 | 30 | 27 | 3 | 音楽 | 60 <5> | 69 | -9 |
| 家庭 | 45 | 51 | -6 | | 美術 | 14 | 14 | 0 | 美術 | 31 <2> | 33 | -2 |
| 農業 | 28 | 20 | 8 | | 保体 | 105 | 92 | 13 | 保体 | 129 <12> | 162 | -33 |
| 工業 | 81 | 70 | 11 | | 技術 | 4 | 5 | -1 | 技術 | 13 <3> | 11 | 2 |
| 商業 | 79 | 85 | -6 | | 家庭 | 7 | 4 | 3 | 家庭 | 15 <2> | 15 | 0 |
| 水産 | 10 | 12 | -2 | | 英語 | 26 | 32 | -6 | 英語 | 146 <12> | 137 | 9 |
| 英語 | 138 | 137 | 1 | | 中計 | 280 | 269 | 11 | 中計 | 844 <116> | 858 | -14 |
| 芸術 | 53 | 70 | -17 | | 小・中計 | 435 | 398 | 37 | 小中合計 | 1,612 | 1,627 | -15 |
| 情報 | 48 | 47 | 1 | 理療 | * | * | | | | | | |
| 福祉 | 8 | 13 | -5 | | | | | 養護合計 | 167 | 170 | -3 | |
| 高合計 | 1,356 | 1,331 | 25 | 特支合計 | 435 | 398 | 37 | 合計 | 1,779 | 1,797 | -18 | |

※農業実習、工業実習、水産実習を除く、*印は募集なし

2 高等学校の特徴

高等学校では、前年度より25人(約1.9%)の増である。特に、志願者の増加については、数学が17人の増、地理歴史が16人の増、工業が11人の増である。一方、志願者が減少した教科は、芸術、商業、家庭、福祉であった。芸術の中でも美術は13人の減、理科の中では地学が新規募集で11人の増にもかかわらず、物理・化学で16人の減である。採用予定人数は、前年度並み(140人程度)を予定している。

※「教職経験者を対象とした選考」118人、「身体に障害のある者を対象とした選考」2人、「博士号を取得した者を対象とした選考」6人、「国際貢献活動経験者を対象とした選考」7人、「大学院修士課程1年生の特例」30人、「教職大学院進学予定者の特例」7人

3 特別支援学校の特徴

特別支援学校では、前年度より37人(約9.3%)の増である。特に志願者が増加したのは小学部で26人の増である。中学部志願者の中では、保健体育が13人の増である。一方、中学部・国語が5人、数学が4人の志願者減となっている。採用予定数は前年度並み(100人)の予定である。

※「教職経験者を対象とした選考」114人、「身体に障害のある者を対象とした選考」6人、「国際貢献活動経験者を対象とした選考」6人、「大学院修士課程1年生の特例」2人、「教職大学院の特例」2人、「1次試験免除」1人

4 小中学校の特徴

小・中学校では、前年度より15人(約0.9%)の減であった。主だった内訳は、小学校が1人の減、中学・社会が23人の増、中学・英語が9人の増であった。一方特に志願者が減少したのは、中学・保体が33人の減、中学・音楽が9人の減、中学・国語が7人の減であった。保体が減少したのは、特別支援学校受験者が増えたことが影響しているのではないかと考える。

2年目となったポルトガル・スペイン語が堪能な者を対象とした選考に18人(養護教員1人含む)(前年比7人増)、小学校理科専科は52人(前年比2人減)が希望した。

※「国際貢献活動の経験者を対象とした選考」で9人(養護教員1人含む)(前年と同じ)、「教職経験者を対象とした選考」205人(養護教員34人含む)(前年比33人減)、「身体障害者特別選考」3人(養護教員1人含む)(前年比1人減)、「大学院修士課程1年生の特例」39人(前年と同じ)、「教職大学院の特例」4人

静岡県文化財建造物監理士養成講習会の開催

(文化財保護課)

1 概要

県教育委員会では地域の貴重な文化財を発掘・調査し、あわせて地震等の災害から文化財を守るための人材養成を目指し、昨年度第1回静岡県文化財建造物監理士養成講習会を実施した。昨年度は20人の監理士が誕生し、3月15日の静岡県東部を震源とする地震の被害調査等で活躍した。本年度6月より第2回講習会を実施する。

2 静岡県文化財建造物監理士

文化財建造物の所有者及び市町教育委員会等の依頼を受けて、次のことを行う。

- (1) 国の登録有形文化財の登録申請に対する支援
- (2) 文化財建造物の管理・保護に対する所有者や行政に対する助言
- (3) 予備基礎診断の実施
- (4) 地震発生時における文化財建造物に対する応急措置

3 講習の内容

- (1) 受講対象 静岡県に在住・在勤する建築士で文化財建造物に関する研修の受講経験や文化財建造物等の調査・修理等の実務経験等を持つ者
- (2) 人 数 20人（書類選考で選定）
- (3) 費 用 2万円（テキスト代実費）、500円（保険料）
- (4) 登 録 10回全ての研修を受講した者を修了とし、静岡県教育委員会から静岡県文化財建造物監理士として登録される。

●プログラム 時間は基本的に午後1時から4時まで（第2回のみ午前10時から午後4時まで）

| | 開催日 | 内容 | 講師 | 場所 |
|----|----------|---|----------------------|-----------|
| 1 | 6/18(土) | オリエンテーション 総論 ・文化財保護制度の概要について ・伝統建築概論・県内の文化財建造物 | 文化庁鑑査官 大和智氏 | 静岡県庁 |
| | | | 文化財保護審議会 委員 建部恭宣氏 | |
| 2 | 7/ 2(土) | 調査の基本(用語、用具・道具、技術) | 建部恭宣氏ほか | 広見公園(富士市) |
| 3 | 7/23(土) | 現地調査Ⅰ(寺院)(実測、野帳作成) | | 未定 |
| 4 | 8/13(土) | 現地調査Ⅱ(神社)(実測、野帳作成) | | 天宮神社(森町) |
| 5 | 9/ 3(土) | 文化財建造物の耐震化 耐震診断Ⅰ ・予備基礎診断について ・予備基礎診断演習Ⅰ | 建築研究所 河合直人氏 | 広見公園(富士市) |
| | | | 湘北短期大学教授 岩崎敏之氏ほか | |
| 6 | 9/24(土) | 現地調査Ⅲ(民家)(実測、野帳作成) | 建部恭宣氏ほか | |
| 7 | 10/15(土) | 耐震診断Ⅱ(予備基礎診断演習Ⅱ) | 岩崎敏之氏ほか | |
| 8 | 11/ 5(土) | 耐震診断Ⅲ(予備基礎診断演習Ⅲ) | | |
| 9 | 11/26(土) | 修理保存等について | 建部恭宣氏ほか | 大石寺(富士宮市) |
| 10 | 12/17(土) | 総括 | 建部恭宣氏ほか | 静岡県庁 |